

三上和幸さん逝く

専務理事として多大な貢献

日遊協特別参与で前専務理事、三上和幸氏が8月14日午後6時24分、前立腺ガンのため入院先の東京都江東区、木場病院で死去した。76歳。

葬儀は8月22日、東京都港区芝公園、増上寺・光摂殿で、三上家と社団法人日本遊技関連事業協会との合同葬としてしめやかに営まれた。喪主は長男、裕之氏。葬儀委員長は深谷友尋(社)日遊協会長が務めた。蝶ネクタイ姿の三上氏がにこやかに微笑む祭壇に向かい、



喪主の長男裕之氏(左端)が家族を代表して、お礼のこたばを述べた(右から三男秀利氏、二男和隆氏)

深谷葬儀委員長と、警察庁同期生で友人代表の依田智治氏(防衛庁事務)

健全化推進機構設立の要 リサイクル推進などに尽力

故・三上和幸前日遊協専務理事

は東京都出身、千葉大学文学部卒。1958年4月、警察庁に入庁し、捜査一課長、刑事企画課長、高知県本部長、警察大学校特捜幹部研修所長、兵庫県本部長を歴任し、90年4月、九州管区警察局長で退官した。(財)競艇保安協会理事長などを経て、2000年4月に日遊協顧問、同年6月の日遊協総会で専務理事に就任し9年間務めた。昨年6月から日遊協特別参与及び一般社団法人貯玉補償基金監事に

務次官で退官。元参議院議員)の2人が代表して弔辞を読み上げた。

遊技産業関係者、警察関係者を含めて、21日の通夜、22日の告別式の両日で約500人が参列し、故人の冥福を祈った。

(深谷葬儀委員長の弔辞は16ページに)

選任されていた。

三上氏が専務理事在任中は「爆裂機」に端を発する遊技機規則等の改正(04年)の影響、射幸性の問題、不正問題等で業界が大きく揺れた。そんな中で、三上氏は日遊協の枠にこだわらず業界横断的な諸問題の解決に貢献した。

第三者機関・遊技産業健全化推進機構の設立にあたって、業界団体間の意見調整、警察庁や公正取引委員会との折衝で中心となって活動した。また、90年代に産廃業者による廃棄台の不法投棄で社会的な批判がパチンコ業界に向けられたとき、業界団体と主要な遊技機メーカーとで構成する遊技機リ



日遊協設立20周年祝賀パーティーで談笑する三上さん(左から辻義之生活環境課長、伏見勝健全化推進機構専務理事、右から巽高英生活安全局長、深谷友尋日遊協会会長)

故三上和幸氏葬儀（通夜・告別式）の
主な参列者（敬称略）

パチンコ・パチスロ業界団体

全日本遊技事業協同組合連合会＝原田實（理事長）、
大城正準（副理事長）、金本正浩（同）、
吉原文司（専務理事）

日本遊技機工業組合＝市原高明（理事長）、
石橋保彦（副理事長）、澤井明彦（同）、
緒方右武（専務理事）、松本一男（常務理事）、
山澤求（同）

日本電動式遊技機工業協同組合＝里見治（理事長）、
兼次民喜（副理事長）

全国遊技機商業協同組合連合会＝井上威夫（会長）、
高橋稔（専務理事）

回胴式遊技機商業協同組合＝伊豆正則（理事長）、
大饗裕記（筆頭副理事長）、桂木俊郎（専務理事）

遊技場自動補給装置工業組合＝梁川誠市（理事長）

遊技場自動サービス機工業会＝木原一雄（理事長）

遊技場メダル自動補給装置工業会＝大泉政治（理事長）

一般社団法人日本遊技産業経営者同友会＝
松田高志（副代表理事）

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会＝
中島基之（専務理事）

一般社団法人プリペイドシステム協会＝大高時男（理事長）、
岡部宏泰（専務理事）

電子遊技機工業協同組合＝黒沢正和（最高顧問）

東京都遊技業協同組合＝道本佳治（専務理事）

東日本遊技機商業協同組合＝中村昌勇（理事長）、
安藤享（副理事長）、佐々木勝司（常務理事）、
小島利幸（同）

警察・一般

警察庁＝室城信之（刑事企画課長）、
漆間巖（前警察庁長官）

一般社団法人遊技産業健全化推進機構＝伏見勝（専務理事）

衆議院議員・平澤勝栄

サイクル推進委員会の座長として
他団体の協力を得ながら事態を収
拾するとともに、リサイクル選定
業者など業界のリサイクルのスキ
ームを確立した。

中古機流通協議会とセキュリティ
イー対策委員会の委員として活躍
する一方、貯玉補償基金や遊技産
業不正対策情報機構（PSIO）
の設立、販売業者登録制度の施行
など、業界の足並みを調整し健全
化・適正化・近代化に尽力した。

とくに、04年の遊技機規則等の改
正に伴い販売業者の地位が法令上

明確に規定されたことで、販売業
者の協力のもと日遊協が主催する
遊技機取扱主任者制度の発展に貢
献した。

日遊協内部の事業に関しても、
店長等講習の充実をはじめ、遊技
産業マネジメント・カレッジ、共
生の森、日遊協ボランティア団体
応援基金、日遊協ボランティア派
遣隊の発足など、人材育成、環境
対策、社会貢献に力を入れた。

04年秋の叙勲で、警察行政など
の功績により瑞寶中綬章を授与さ
れた。

三上さん安らかに

深谷友尋 日遊協会長

辛抱強く、あきらめず あなたの情熱で前進してきました

故三上和幸氏のご逝去を悼み、
謹んでご霊前にお別れの言葉を申
し上げます。

十年間の長いお付き合いをさせ
ていただいた者として、「三上さん」
と呼ばせていただきます。

三上さん。七月にあなたを病院
に見舞ったとき、既にあなたの容
態が思わしくなく、ずっと気にか
かっておりました。しかし、あな
たは私たちに気使い、「大丈夫だよ、
早くリハビリをして、元気になる
から」とおっしゃいました。責任
感の強い三上さんなので、この一
年間、日遊協特別参与として、さ
らには貯玉補償基金監事として、
会議に出席されたことも体調に影
響したのでしょうか。無理しない
でくださいと、もっと強くお伝え
すればよかったと悔やまれます。

それにしても、昨年六月まで専
務理事として精力的に仕事をこな
されていたあなたと、これほど急

なお別れになろうとは思ってもより
ませんでした。

柔和で、ほほえましく

ふだんは柔和な笑顔の多かった
三上さんでした。

日遊協が新しい事業を始めるに

あたって必要な要綱や規程
はいつもあなたに作成をお
願いし、それがときに急な
場合もあって、ずいぶんと
無理を聞いていただきました
た。そんなとき、「資料を

調べていたら土、日が潰れちゃっ
たよ」とニコニコ、こともなげに
話されていましたね。

奥様をなくされた後、炊事、洗
濯、買い物など家事万端をこなさ
れ、前の晩の献立を事務局員相手
にとくとくと説明されていたあな
たを、今ほほえましく思い
出します。

三上さんのカッターシ
ヤツがあまりにも綺麗な
ので、三上さんは毎日ク
リーニングに出すのです
かと尋ねた事がありまし
たね。「地方勤務が長か
ったので全て自分で洗濯
もアイロンもかけるよ」
といとも簡単に答えられ
る優しさ。

その一方で、間違った
意見や行動に対しては厳
しく、ここ一番の正念場に
は毅然として臨まれるあ
なたを見て、やはり警察

の要職を歩んでこられた方なのだ
なあと感ずることが少なくありま
せんでした。

数々の組織作り

あなたは昭和三十三年警察庁に
入省され以来高知県警本部長、兵
庫県警本部長、九州管区警察局長
を歴任され、日遊協にお越しいた
だいたのは平成十二年四月でした。
以来、三上さんと私は二人三脚で、
遊技産業の健全化、近代化、適正
化、そして社会的地位の向上のた
めに、公益法人・日遊協の活動に
邁進してきました。

中でも、遊技産業不正対策情報
機構（PSIO）を立ち上げる際
には、なかなか業界内の理解が得
られず、あきらめかけた時もあり
ましたが、その都度、三上さんに
どれだけ励まして頂いた事か。お
陰で機構は立ち上がり、8管区警
察局、都道府県警察本部への説明
と協力をお願いに二人で精力的に
まわりましたね。各県警へご挨拶
に回った時、あなたの特捜研時代
の教え子の皆さんに歓待していた
いただきましたね。「特捜研時代は辛
い事もあったが、今は彼らと会う
のが唯一の楽しみだよ」と嬉しそ

遺影に向かって、心からの弔辞を読み上げる深谷日遊協会長



うに話された笑顔がきのうのように思い出されます。

また、遊技機取扱主任者制度についても毎晩遅くまで案を練っていただきました。その甲斐あって、初めて規則に遊技機取扱主任者の文字が載りました。店長講習制度を充実させ、優秀な人材の育成のため遊技産業マネジメント・カレッジをスタートできたことも、三上さんの強い指導力の賜物と思っています。

第三者機関の遊技産業健全化推進機構の設立には約一年半を要しましたが、毎日お会いすると機構の話ばかりでした。前進しては、後退の日々でした。その間、決してあきらめることなく、各団体の意見をまとめ、警察や公正取引委員会との折衝を繰り返すという辛抱強い活動の中心にいたのは、三上さん、あなたでした。

遊技機リサイクル推進委員会、三上さんは委員会の座長として、リサイクル選定業者制度など業界の仕組みを確立されました。

かけがえのない戦友

貯玉補償基金の設立をはじめ、販売業者登録資格審査委員会、セ

野積み廃棄物の撤去作業を完了させて、福田栃木県知事から感謝状をうける三上専務理事



キュリテーター対策委員会、中古機流通協議会など、三上さんの細かい目配りや根回しがどれほど貢献したか計り知れません。

日遊協は本年、設立二十一年を迎えました。日遊協の最初の十年間は、どちらかという施策づくりに重点が置かれました。そのあとの十年間はそれらの施策を実証するため、「行動する日遊協」としての色彩を強め、不正対策、社会貢献、環境問題、人材育成などの課題を重視して活動しました。

三上さんと私は、まさにこの「行動する日遊協」時代の戦友でした。そして、遊技産業界はこれからが本当に大事なときなのに、かけがえのない戦友に逝かれてしまいました。



協会の旅行で、事務局員とごきげんの記念撮影

奥様への深い思い

うれしい事もありました。平成十六年十一月三日皇居において、「瑞寶中綬章」の叙勲を陛下より賜り、叙勲お祝いを帝国ホテルで開きました。

あなたは「人生最高の日です。妻には今まで苦勞の掛けどおしで、ありがとうを言った事がありませんから、皆様の前で妻にありがとうと言いたい」と奥様におっしゃいました。奥様が大変喜ばれておられるお姿は今でも忘れる事が出来ません。「お祝いをしてくれた妻が一番喜んでくれたのが良かった」とのちにお話しされ、本当に田鶴子夫人を愛されていると感

じりました。

その、最愛の田鶴子夫人とのお別れされた時、あなたは憔悴しきってしまいましたね。

「妻へは3人の子どもを託し、仕事に追われる日々、思えばもう少し楽をさせてやりたかった」としみじみと涙ながらにお話されました。私も言葉が詰まりました。

三上さん今は最愛なる田鶴子夫人とお会いされ、これまでの人生の思い出をお二人で仲睦まじく語られている事でしょう。

蝶ネクタイのとてもお似合いの三上さん、本当に有り難うございました。

長きに渡り、国民への安全と秩序をお守りいただきましたこと、そして遊技産業の健全化と発展にご貢献いただきましたことに、遊技産業界を代表して、衷心より御礼申し上げます。

本当に長い間ありがとうございました。安らかにやすみください。

平成二十二年八月二十日

社団法人日本遊技関連事業協会

会長 深谷友尋